

五月の連休が明けた頃から急に夏めいた陽気になり  
ました。私にとって、この爽やかな季節を日本で過ごす  
のは、六年ぶりのこととなります。私が研究生活を送って  
いるベルリン・ポツダムでは、この時期ようやく遅い春が盛り  
を迎え、街中色とりどりの花に覆われる華やかな季節  
になります。ただ夏の匂いと風を感じるには、まだしばらく  
待たないといけません。日本での早い初夏の訪れに、汗ばむこ  
とさえ心浮き立つ気分で、東京での心地よい日々を満喫して  
います。

外国人招聘研究員としての震研滞在がまもなく終わりを迎えよう  
としています。おかげ様で、短いながら内容のある時間を過ごすこと  
ができました。研究面では、滞在目的となる研究課題に取り組  
む以外に、異分野の方たちとの久しぶりの母国語での議論から、  
自分にとって有益な多くの学術・技術的知見を得ることができま  
した。また、学会参加や各地でのセミナー発表を通じて、日本人  
同業者との交流を改めて深めることができました。更には、居室を  
共にした研究者や、英会話ランチの参加者の方々と、楽しい文化的  
な時間を過ごしました。そして何より、学生時代を過ごした研  
究所に戻り、懐かしい根津界限を歩き、たくさんの旧知・旧友に  
再会するだけでなく新しい出会いにも恵まれたことに大変な  
喜びを感じました。

今回の素晴らしい滞在の機会を与えて下さった研究所の皆様、  
特に海半球センター・国際室・秘書室・アウトリーチ室の方々には  
大変にお世話になりました。心よりお礼を申し上げますとともに、  
皆様の更なるご発展をお祈りいたします。

平成25年5月23日

浅利 晴紀